

60歳からの生涯学習



研修生の手作り学舎新聞

北九州市立年長者研修大学校

周望

第57号

平成29年2月1日

発行 北九州市立年長者研修大学校

周望学舎

〒803-0852 小倉北区新高田2丁目29-1

TEL 591-2626

周望学舎新聞編集委員会

平成二十八年度研修の修了を迎えて 周望学舎 所長 藤澤 隆文



平成二十八年度の研修も間もなく終えようとしています。昨年四月八日の入学式から始まった年間コースに加えて、スポーツ大会、大学祭、そして修学旅行といった大きな行事に皆さん積極的に取り組んでいただき、楽しい思い出に残る日々を過ごされたことと思います。一年というのはあっという間に、まだまだ学びたい、もっとつながりたいと思われる方も大勢いらっしゃるでしょう。若い頃に皆が経験する学校生活は将来、社会人・家庭人となるために必要な知識や経験を積むためのものであって、義務があったり強制があったりとしてべてが楽しいものばかりではなかったと思います。しかしここはあくまでも参加は自由意思、これまでに培った知識や経験、技能にさらに磨きをかけるとともに、新たに自己啓発や健康増進、生活の向上のための知識が得られ、それを披露する機会もある、つまり皆さんそれぞれに自己実現の場が提供されていることが周望学舎の魅力でしょう。リピーター率八割がそれを物語っています。

第2便 平成二十八年、修学旅行に参加して

研修旅行実行委員長 心と身体健康コース 中西 裕一

課長、事務局、指導員の方々そして各コースの実行委員の方々には多大なご尽力ありがとうございます。感謝！

修学旅行

島原半島一周めぐり

- 第1便 11月10(木)~11(金) 第2便 11月15(火)~16(水) 第3便 11月17(木)~18(金)

～行程表～

1日目

小倉駅北口～西溪公園～武雄温泉物産館(昼食)～峰松酒造工場・肥前浜宿散策～諫早湾干拓道路横断～千々石展望台～小浜温泉(伊勢屋旅館)

2日目

宿～原城址・有馬キリシタン遺産記念館～みずなし本陣ふかえ～千々石展望台(昼食)～長崎スコーヒャーク・長崎カステラセンター～小倉駅北口



第1便 「旅」に学ぶ アジアを学ぶコース 行武 一成

昨年は「雨の秋・霧の中国道」という風情のある旅行だった。今年こそは、と期待したが、初日午後からの雨で、橘湾の夕日を見ることができなかった。翌日は秋日和で、雲仙普賢岳の土石流跡や島原原城跡を訪ねた。諫早湾干拓道路は初日、雨の中を通過した。

第3便 改めて勉強になった 島原の乱 健康管理コース 中村 彰

十七日、予定どおり出発、多門市近郊の西溪公園へ、紅葉が最高であった。この公園は昭和初期炭鉱で財を成した高取伊好が、この地に誇れる名所をとの思いから巨額の私財を投じて造られ、当時の多久村に寄贈されたものであった。

それぞれ時代や背景は違うが「繰り返す自然の猛威と防災」「無名戦士の墓地原城と「島原の乱の評価」諫早湾潮受水門の「開・閉の司法判断」等、今なお大切なテーマとなっている。バス旅行には酒が付きものと思っていたが、シートベルト着用やゲーム等もあり少々自粛した。実行委員や当番班の皆さん、苦勞様でした。三大行事も終わり、更に親睦も深まった感じです。

思い出の写真集



十六時ホテルに到着、十八時宴会とコースごとの二次会を楽しんだ。翌日「原城址」を見学し、城郭の規模の大きさに驚いた。島原の乱は宗教戦争の色彩が強いが、庄政に苦しむ農民一揆の側面もあること、また原城が再び一揆の拠点にならないよう徹底的に破壊し、三万七千の遺体は廃墟となった城内に埋められたことなど改めて勉強させられた。その後買い物ツアーを終え、予定どおり帰着した。

大学祭

10月1日(土)・2日(日)



すばらしい大学祭

大学祭実行委員長
体力増進コース
柴山 市雄

夏が終わり、ようやく秋を感じ始める十月の初め、大学祭本番を迎えた。各コースの準備は六月から九月中までの盛り。初日は午前中まで残った雨で、中庭での催し会場は足元が少し悪かったが「盛況だったヨ」と妻の一言にホッとした。成果発表展示はどれも良く工夫され、きれいに仕上がっていた。

演芸大会の出し物もすばらしかった。本番はさつちり力を出すのです。演技を終えた後の顔は誰も満面の笑顔。皆さん各々に能力を持っていて、協力する気持ちも持っていると感じた。また二日目の午前中は、健康づくりサポーターコースにディスコン大会を仕切って頂き、感謝。実行委員の皆様にも頑張ってもらった。すばらしい大学祭だった。

大学祭 展示

歴史に学ぶコース
大神 克洋

今年の大学祭は十月一日、二日とも天気に恵まれ成功裡に終了した。三本行事中最もビッグなイベントで、ほぼ全員が参加しコース内での交流が図れる最たる行事でもあった。学習発表は九月迄に学習した中で各班にタイトルを上げてもらい、類似したもの一つにまとめ、結局四つに絞って制作した。①小倉城と小倉藩②秋月の乱③筑前の名城花尾城④中国四大美人

とその背景の四項でその項目に関するクイズを作成し、正解者には粗品を進呈することにした。回答者は百五十名を超え大盛況であった。子供連れも数組来場され、パークラフトで作った動物や飛行機など進呈、喜んでいただいた。また演芸大会は歌謡詩吟「白雲の城」(氷川きよし)を全員で挑戦し、ホームルームや昼休み、放課後等で猛練習し、ほぼ納得できる成果があげられた。来年の大学祭は何に挑戦できるか楽しみでもある。

全員でのコース、展示、販売と仲間感謝!

花と野菜づくりコース
吉岡 正俊

今年最大のイベントを控え、テーマに向かって準備してきました。まず、演芸大会での全員合唱の練習から始まり、お互いの協力し合っただけでなく、仲間と調和を取りながら練習を重ね、今思えば色々問題が解決し無事に終わりました。

ディスコン大会を主催して

健康づくりサポーターコース
町田 音吉

昨年の大学祭行事としてディスコン大会を主催させて頂き誠に有難う御座いました。周望学会各十五コースの皆様、健康ボランティアの皆様、御協力の賜物と感謝致します。ニュースポーツ「ディスコン」は我々のコースでも昨年八月の授業として初めて経験し、実際に

そして、寄植えの展示発表です。寄植えも数多く展示ができ、大盛況でした。搬入でも仲間たちの協力のおかげで想像以上の出来映えになりました。販売の方も、花苗と学舎内で収穫した芋が一時も足りない内に完売して追加する事になり、思った以上に売れ行きが良く、皆で大喜びして何とも楽しい二日間でした。この度の大学祭は学生時代の時とまた違って仲間感謝いたします。

競技して見るとシンプルですが奥が深く、つい夢中になり、童心に帰りました。大学祭で披露する展示内容を検討する過程で我々が経験して楽しかったディスコンを他のコースの皆様にも体験して頂くのも妙案ではと声が上がり、実行委員会へ提案する運びとなり、皆様の同意を得て、結果としては出場選手の方々の評価を頂き、ほっと安堵した次第です。

思い出の写真集



プログラム

(各研修室) 学習成果の展示発表

(販売) せんざい・焼きちくわ・コーヒー・アイスクリーム・手芸小物・バザー品など

(体育館)

1日(土) 開会式、バンド演奏~FBI(フォークバンド・イマムラ)~演芸大会

2日(日) ディスコン大会、社交ダンス発表会

映画「家族はつらいよ」に対する若干の考察 国際情報コース 矢野 明男

日本映画界の巨匠・山田洋次監督の喜劇映画の作風は、日常の中でのペースを重視し、人間を客観的かつリアルに描いた時に生じる共感の喜びと思わず吹き出す笑いを根底にしている。

今回の『家族はつらいよ』は約20年ぶりの現代喜劇であるが、基本的にはその路線を踏襲している。しかし、作為的笑いの誘いが見受けられ疑問符をつけざるをえない。例えば林家正蔵に実父の故三平のギャグを演じさせたり、『男はつらいよ』の主題歌を出前持ちに放吟させるシーンにそれが顕著に表れている。ストーリーの中では、それらは不自然な流れには見えないが、見え透いた安易さを感じられるし、何よりもリアリティが希薄すぎる。

そのような黙過できない箇所が存在するものの家族の絆や温かさをコミカルに追求した姿勢は、全体として評価に値すると思う。



笑える日が来たらいいなあ 写真入門コース 松野 保一

喜寿の時に中学校同窓会で略好く写真が撮りたいと写真入門コースに入りました。けれど現実には厳しく、コースにはカメラ、パソコンの熟練者が揃っており、初心者の方はビビって心が折れそうになりました。しかし、「泣いたらあかん、逃げたらあかんぜ!」という歌詞を思い出して、前に進む決心をしました。幸い良い仲間にも恵まれ、藤の花、虫、火花の頃に誘って貰い、撮影のコツを手取り足取り教わっていますが未だに失敗の連続です。一方、感動する一枚を追い求めるこれらの日々は、逆にお世話になっている仲間との別れが近づく日々でもあります…。心の給が撮れて、心から笑える、そんな日が来たらいいなあ…。



スポーツ大会

6月23日(木)
北九州市立総合体育館

スポーツ大会を振り返って

スポーツ大会実行委員長
体力増進コース

上田 章雄

梅雨前線が停滞し天気
が心配されましたが、当
日は雨も止み、終わる頃
にはスポーツ大会を祝福
するかのように青空が見
られました。

各競技とも、勝負とな
ると年齢を忘れ熱くなる
人が多く、「気持ちは」青
春時代以上の奮闘ぶりだ
した。午前の競技は白組
一点のリード、午後の部
は紅組が「仲良しリ
レー」で挽回し二点の
リードで大接戦となり熱
い戦いが繰り広げられま
した。最後の競技は全員
での「大玉おくり」が行
われたが接戦の末、白組
の勝利でスポーツ大会初
めての13対13で両組優
勝。勝敗は来年へ持ち越
しとなりました。

最後に大会開催にご尽力
いただいた藤澤所長はじ
め学舎職員の方さま、健
康ボランティアの方さま
ま、そして各コースの実
行委員の方々に心から感
謝申し上げます。

思い出の写真集



プログラム

入場行進

開会式

- 1 愛のラケット
- 2 大玉ころがし~女の戦い~
- 3 大玉ころがし~男の戦い~
- 4 ナイスキャッチ
- 5 フォークダンス

昼食・休憩

- 6 玉入れ~女の戦い~
- 7 仲良しリレー
- 8 大玉おくり
- 9 炭坑節

閉会式



周望のオンラインブック

書道入門コース
星野 勝士

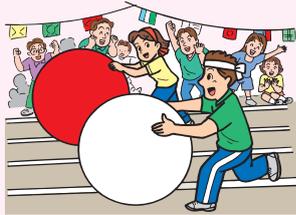
緑豊かに囲まれた体育館に、今年も周望学舎の元気な元青年たちがスポーツ大会に集う。最初の競技「愛のラケット」では男女いっしょにラケットを握り、年を忘れてボールを落とさないように走った。応援席では熱い声援が飛び盛りながら男女手を取りながら踊る「オクラホマミックス」では、学生時代に心をとぎめかしたことを思い出しながらニンマリ。楽しく最後に全員参加の「炭坑節」で締めくくった。閉会式では成績発表の時、審判長より「学舎始まって以来の紅白の同点です。」大きな拍手が長く続いた。

スポーツ大会

ふるさとの文化コース
重野 隆

前日までの大雨も学舎
全員の熱意に負けたか当
日は好天で安堵。

今年から競技種目が増
えて、一〇〇%の競技参加
率となった。アリーナは
選手と応援席が一体と
なって大いに盛り上がり
た。全員がはつらつとして
身体を動かせる幸せを表
現し、その表情は明るい。
人との交流と健康づくり
の理念通りに、健康ボラ
ンティアと全員の協力で、
計画通りに進んだ。
体と頭を使う事は健康年
齢を保つには大きな要
素で、継続することが大
切だ。競技得点はスポー
ツ大会が始まって以来、
初の13対13の同点。紅白
揃って優勝の喜びを分か
ち合った。元気な年長者
は格好良く、若さにあふ
れていた。正に青春とい
う言葉は年齢に関係ない
という事を実感した。次
の行事も楽しもう。



ハロウィーン

生活情報コース 山中 睦夫

10月16日、小倉駅広場でハロウィーンのコテストがありました。娘とママ友6人、子供達12人で数年前から参加しています。昨年は準優勝でした。今年は私に制作要望があり、テーマは「手巻き寿司」に決定しました。孫の身体の寸法を計り、のりを紙の下地に黒のビニールを貼り、具材としてエビ、カニカマ、レタス、玉子焼き、キュウリ等を紙で立体にし、各色のフェルトを貼り付けました。

家内からの「少し小さいのでは」との意見で倍の大きさに作り直し、頭からスッポリとかぶって肩にかけて歩けるように仕上げました。

当日は天気も悪く大変でしたが、結果はキッズの部でグランプリを受賞しました。楽しい制作時間を持てた数日間でした。早くも来年に向けて思いを馳せる私でした。



人生最大の別れ

心と身体を健康コース 米原 民子

55年連れ添った主人が亡くなりました。今年のお正月、寝ていると思っていたらいつの間にか亡くなっていました。同じ家にも気がつきませんでした。病氣もいっさいなく、健康そのものでした。あまりに急な別れで、ショックも大きく、早く気づいて2、3日でも介護して送りたいかと思えます。

本人は痛みもなく楽に逝けてよかったのかも知れません。二人よく山登りやスキーに行っていた事、一緒に畑で野菜を育てていた事を思い出します。

小言をいう相手がなくなるとさみしいものです。

主人はあの世でも持ち前の明るさで、まわりの人達を楽しませている事と思えます。



積極的な社会参加を
目指して

地域ふれあいコース
榎丸 靖幸

私達は、様々な地域へ社会活動に対する認識をより深め、可能な限り活動に参加することを目指し学んでいます。学習内容で主なものは次の三項目です。

①高齢者や障害を持つ人の生活支援。自然災害の復興支援或いは街づくり等の活動に携わった人から実例・体験談を聞き、実態を知る。②社会活動の基盤となる人と人のふれあいに最も重要なコミュニケーション力向上の為、スピーチトレーニング、話の仕方と聞き方や手話を学ぶ。③施設

陶芸コースの
研修内容・紹介

陶芸コース
沖津 俊夫

本コースは男女十二名ずつの二十四名です。四月末から成形・乾燥・素焼・釉薬掛・本焼等の工程を実習し、九月半には茶碗・湯呑・花器・筆立・香炉・ゴブレットと六点もの作品を作りました。ほとんどの研修生が初体験でしたが、矢野先生のご指導と内田・江口両先



一般コース
生活情報学ぶ環境
歴史と暮らしの管理
健康づくりの推進
国際情報アジアを学ぶ
ふるさと文化

実技コース
花と野菜づくり
写真入門



生の実技ご支援で、十月の大学祭では立派な作品展が出来ました。先生方のご指導に感謝を申し上げます。また作品づくりを鑑賞力も育成されて来ると思っています。先日、小石原の民陶むら祭りを見学しましたが、そこでの作品の素晴らしさには本当に感心しました。来年度も新しい方々が本コースに入られ、作品づくりを体験され、大いに楽しめる事を心から期待しております。



を往訪し傾聴ボランティア等の活動を実践する。「積極的な社会参加が健康をもたらす」と言われています。私達は学んだことを社会参加への一つのステップにしたいと思います。



校外研修
「響灘ビオトープ」
暮らしと環境コース
宮川 正樹

廃棄物処分場だった四十一ヘクタールをかけたできた生き物たちの楽園！日本最大級ビオトープに行ってきました。埋め立て後にできたデコポココ地形や淡水池、草原などの多様な環境を生むことで、メダカやベッコウトンボなど希少な生物の姿やさまざまな生物が息を吹きかいています。一見、風車をバックに広大な草原に

体力増進コース
筒井 由美子

大勢で外での炊飯は何十年ぶり、前日から楽しみました。調理時間があまり無いこともあり、思っていたより楽な感じが、献立決め・買い物・下処理などに追われながらもなぜかソワソワ、何度もち物の点検をしていました。当日は天気も良く、かまどの前で子供米とぎなどさせられた事をなつかしく思い出しながら話し、笑い合ひ、火の見張り番などをしました。試食の時はそれぞれ家庭のカレーの味付け

しか見えない敷地も沢山の生き物が力強く生きてるのが伝わってきます。人間がさまざまな生き物の棲む場所を奪っている事実を受けとめる反面、自然環境保全に関する認識と学習の出来る素晴らしい施設でもありません。希少な生き物だけでなく、どこでも見ることが出来る生き物もそれぞれが生活しています。どこに昔を思い出す風景に是非一度訪れ、生き物たちの楽園を覗いてみませ



「周望学舎かわら版」や「周望新聞」は、周望学舎における活動や研修生の知識をPRする媒体として必要なものです。これからも引き続きご協力をいただきたいと思います。

ご投稿いただいた研修生の皆さんに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

新聞編集委員

周望文壇



俳句
糸電話時間すぎ君にシクラメン
健康づくりサポーターコース 永久 邑子
十八の学生服が国支え
暮らしと環境コース 仲道 弘起
偕老まで野菜あいつて花めぐる
花と野菜づくりコース 柏田 知甫
年齢ゆきて花野にあそぶ今われは
心と身体健康コース 川野 キミ子
耳飾り大きく揺れて盆踊り
地域ふれあいコース 渡邊 サカエ
小雪舞う肌さす風とたわむれる
書道入門コース 西野 加代子
耳鳴りで冬も風流虫の声
生活情報コース 仲道 淳子

川柳
文学が風に吹かれて舞っている
ふるさとの文化コース 西村 武朗
八十路こえ自分の最後見えてきた
健康づくりサポーターコース 大野 一憲

短歌
健康の有難さ知る金毘羅で
流れる汗に朝日輝く
地域ふれあいコース 中島 フミ子
雨の日の人まばらなる公園の
高き噴水飛沫を散らす
生活情報コース 安野 和子
山の端に朱のひと刷毛を残し
行く秋の夕べの静かに暮れぬ
暮らしと環境コース 松本 悦子
久々に戦火に散りし
伯父の墓前にたすめば
風悄悄と泣くばかり
たら懐かしき
故郷の山
故郷の川
アジアを学ぶコース 武藤 佐和子

俳句
糸電話時間すぎ君にシクラメン
健康づくりサポーターコース 永久 邑子
十八の学生服が国支え
暮らしと環境コース 仲道 弘起
偕老まで野菜あいつて花めぐる
花と野菜づくりコース 柏田 知甫
年齢ゆきて花野にあそぶ今われは
心と身体健康コース 川野 キミ子
耳飾り大きく揺れて盆踊り
地域ふれあいコース 渡邊 サカエ
小雪舞う肌さす風とたわむれる
書道入門コース 西野 加代子
耳鳴りで冬も風流虫の声
生活情報コース 仲道 淳子